



# 大同メタル工業株式会社

## 2023年3月期 通期 決算補足説明資料

2023年5月11日

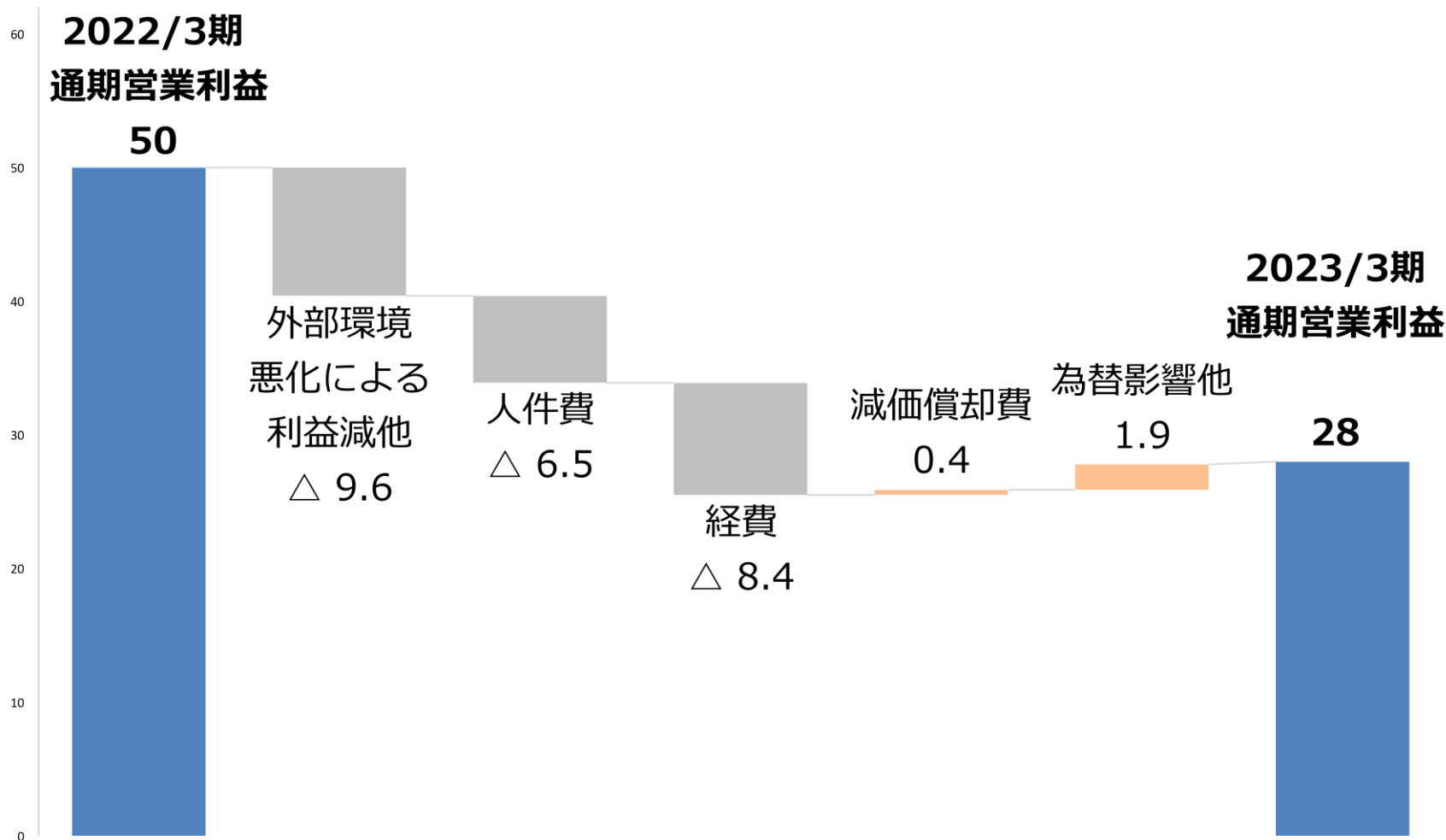
[東証プライム市場、名証プレミア市場]

証券コード:7245



連結	実績		前年度比	
	2022/3期 通期	2023/3期 通期	増減額	増減率
売上高	104,024	115,480	11,455	11.0%
営業利益 (営業利益率)	5,042 (4.8%)	2,824 (2.4%)	△ 2,217 (△2.4%)	△ 44.0% -
経常利益 (経常利益率)	4,836 (4.6%)	2,909 (2.5%)	△ 1,926 (△2.1%)	△ 39.8% -
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純損益率)	1,897 (1.8%)	△ 2,208 (△1.9%)	△ 4,106 (△3.7%)	- -
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.3%	△ 3.6%	△ 6.9%	-
自己資本比率	36.3%	35.3%	△ 1.0%	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	34,110	37,825	3,714	10.9%
為替レート(1USD/円)	115.02	132.70		
為替レート(1ユーロ/円)	130.51	141.47		

左記為替レートは  
各期12月末TTMレート



為替影響や減価償却費減により約2.3億円利益増があったものの、外部環境悪化・人件費増・経費増の合計で約24.5億円の利益減があり、前年比約22億円減益

# 2024年3月期 通期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想	前年度比	
	2023/3期 通期	2024/3期 通期	増減額	増減率
売上高	115,480	121,000	5,519	4.8%
営業利益 (営業利益率)	2,824 (2.4%)	3,100 (2.6%)	275	9.7%
経常利益 (経常利益率)	2,909 (2.5%)	2,200 (1.8%)	△ 709	△ 24.4%
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純損益率)	△ 2,208 (△ 1.9%)	200 (0.2%)	2,408	—
為替レート (1USD/円)	132.70	130.00		
為替レート (1ユーロ/円)	141.47	142.00		

12月末TTMLレート

連結子会社であるDMキャストینگテクノロジー(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損を  
2023年3月期 第2四半期で計上した影響

連結	実績	予想	前年同期比	
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	56,944	60,000	3,055	5.4%
営業利益 (営業利益率)	664 (1.2%)	1,200 (2.0%)	535	80.5%
経常利益 (経常利益率)	941 (1.7%)	700 (1.2%)	△ 241	△ 25.6%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純損益率)	△ 2,475 (△4.3%)	△ 210 (△0.4%)	2,265	—
為替レート (1USドル/円)	136.68	130.00		
為替レート (1ユーロ/円)	142.67	142.00		

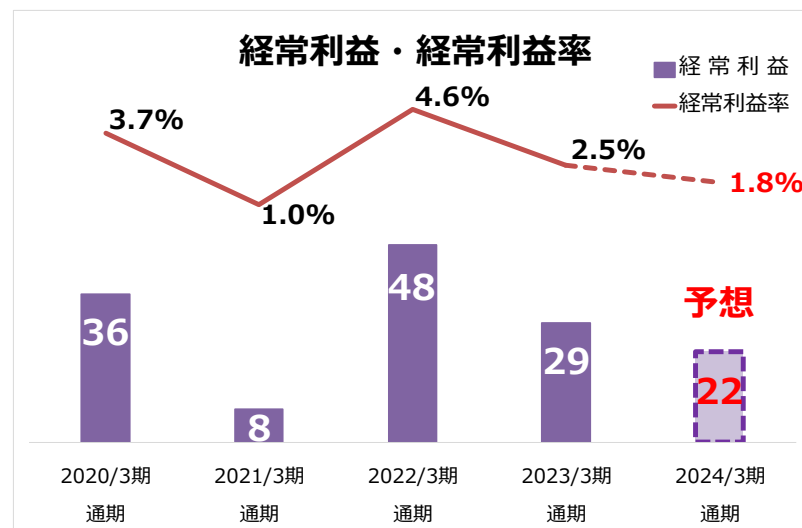
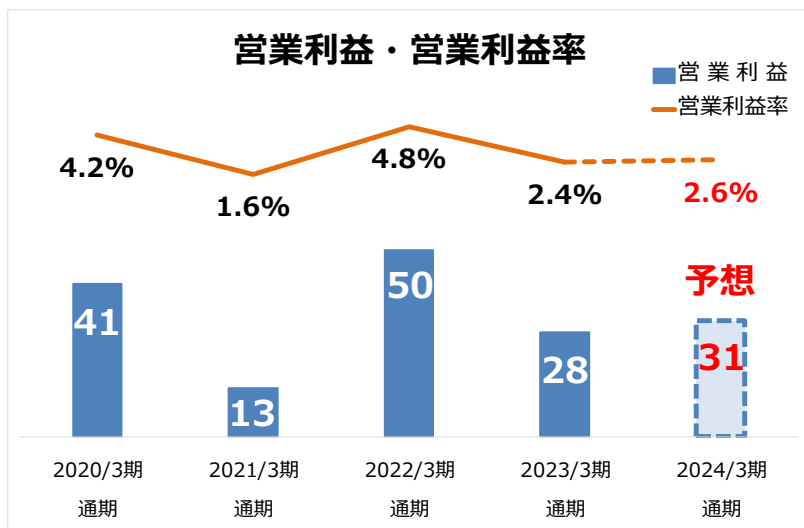
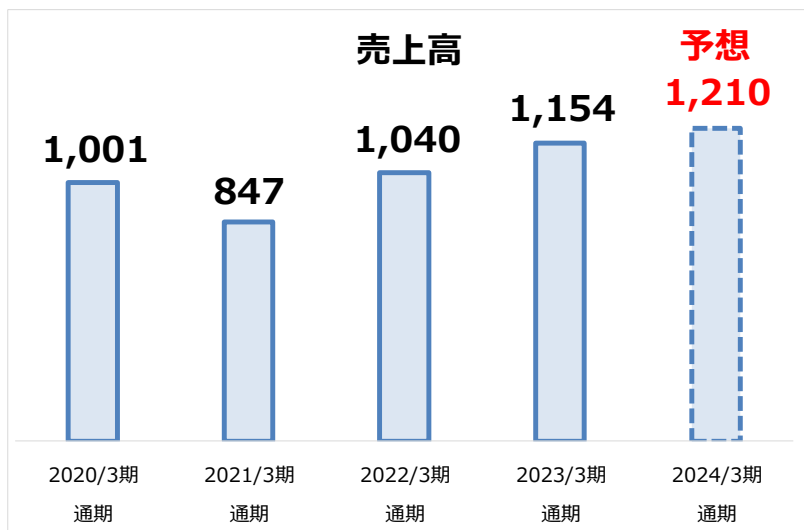
6月末TTMレート

(予定)

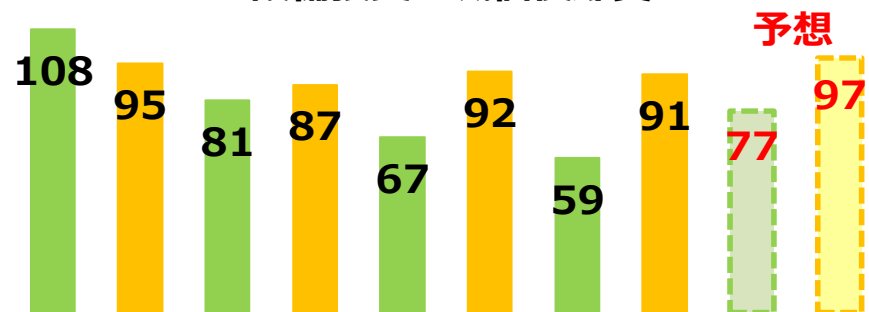
<配当金推移>	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
中間	20円※	10円	10円	10円	2円
期末	15円	10円	15円	2円 (予定)	6円
年間	35円	20円	25円	12円 (予定)	8円

配当性向	60.1%	888.7%	61.4%	—	188.7%
利回り (期末株価ベース)	6.5%	3.4%	4.4%	2.3%	—

※ 2020年3月期中間配当金の内訳 は普通配当15円、記念配当5円です。(創立80周年記念配当)

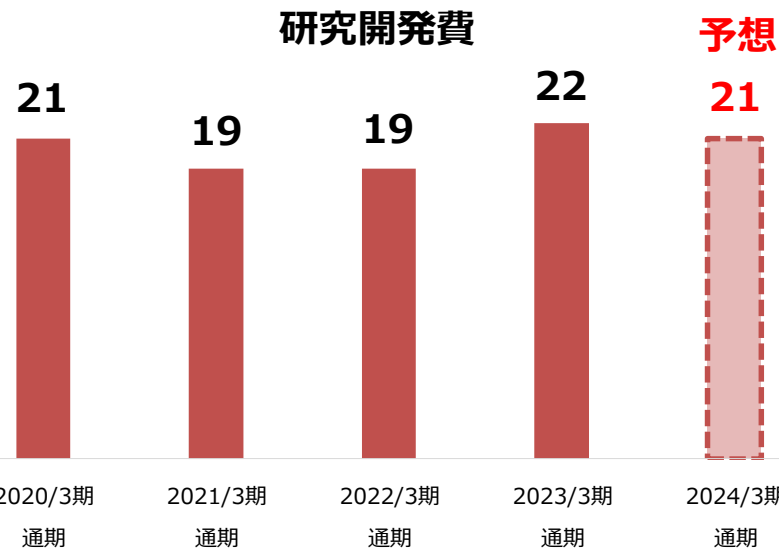


## 設備投資・減価償却費



設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
2020/3期	通期	2021/3期	通期	2022/3期	通期	2023/3期	通期	2024/3期	通期

## 研究開発費



2020/3期 通期	2021/3期 通期	2022/3期 通期	2023/3期 通期	2024/3期 通期
------------	------------	------------	------------	------------



## 【売上高】

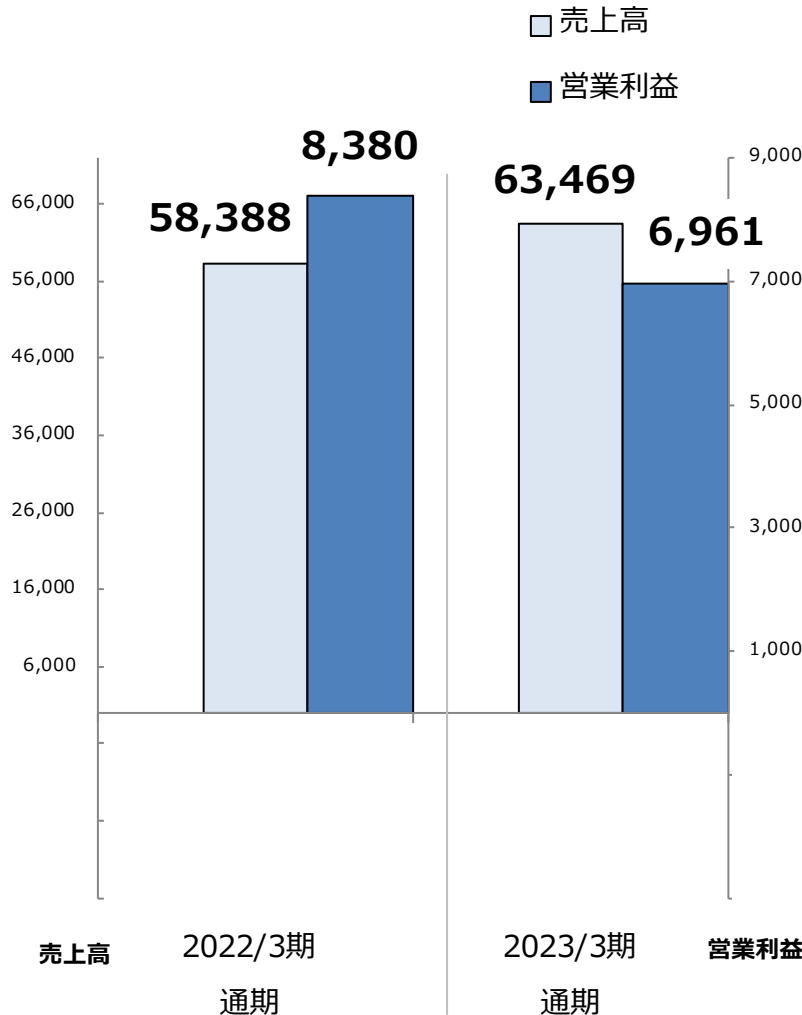
## 【営業損益】

セグメント	売上高 構成比	前年度比		前年度比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
自動車用 エンジン軸受	54.0%	5,081	8.7%	△ 1,419	△ 16.9%
自動車用 エンジン以外軸受	16.6%	△ 909	△ 4.5%	△ 667	△ 20.0%
非自動車用軸受	12.6%	3,731	33.7%	335	19.2%
自動車用 軸受以外部品	15.1%	3,314	23.0%	△ 446	—
その他	1.8%	2	0.1%	35	10.2%
セグメント間消去		236		△ 54	
全体合計：		11,455	11.0%	△ 2,217	△ 44.0%

## 自動車用エンジン軸受

(セグメント間消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比



**【売上】 +5,081 (+8.7%)**

- ◎日本：乗用車では半導体供給不足の影響による減産影響はあったものの足元での回復傾向もあり受注増
- ◎日本：トラックでは半導体など供給不足の影響はあるものの需要は堅調に推移し、受注増
- ◎タイ：需要の好調による受注増
- △中国：ロックダウンや半導体供給不足の影響による受注減

**【営業利益】 △1,419 (△ 16.9%)**

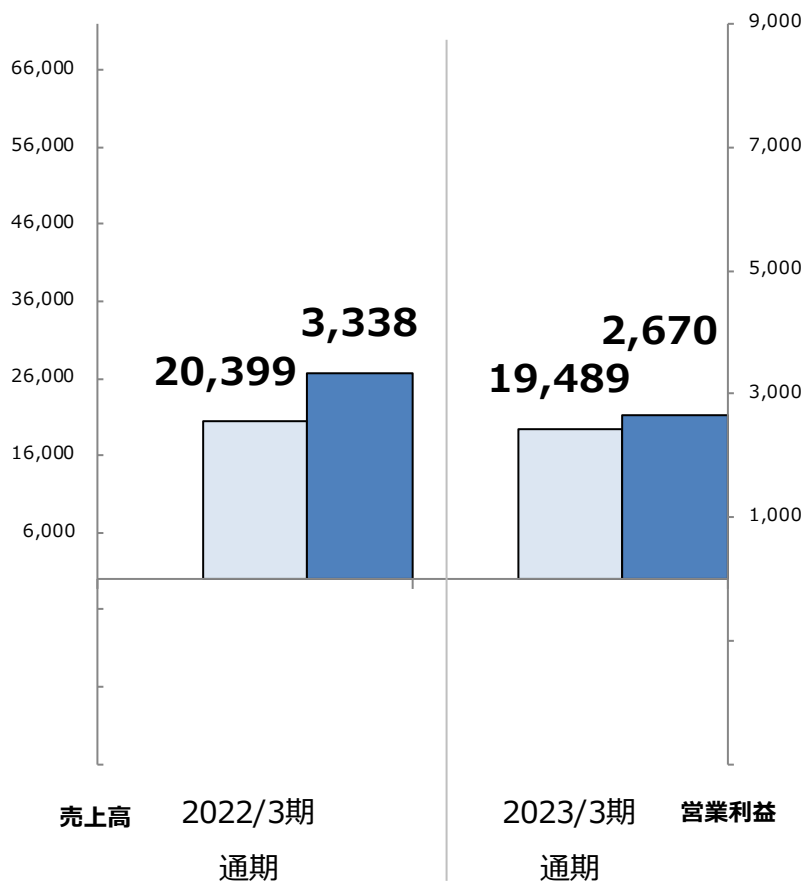
△原材料やエネルギーコスト増に伴う影響

## 自動車用エンジン以外軸受

(セグメント間消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 △909 (△ 4.5%)**

- △日本：乗用車関連では底堅い需要はあるものの、半導体などの供給不足によるカーメーカーの減産に伴う受注減
- ◎北米：コロナからの回復により需要が底堅く推移した事による受注増

**【営業利益】 △667 (△ 20.0%)**

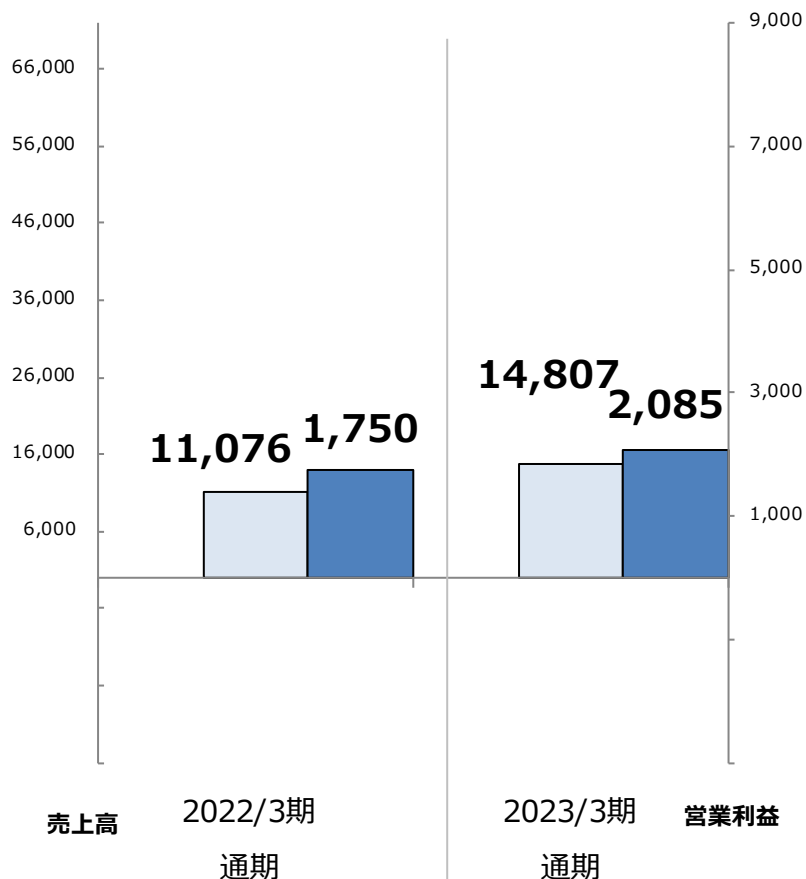
- △原材料やエネルギーコスト増に伴う影響

## 非自動車用軸受

(セグメント間消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +3,731 (+33.7%)**

- ◎ **船舶分野**：  
堅調な需要の推移やメンテナンス需要の回復、  
加えてLNG船（液化天然ガス運搬用）や  
タンカー船の中国向け新規開拓による受注増
- ◎ **建設機械分野他**：  
建設機械関連向けの組み付け・サービスパーツや  
発電機等の需要増加による受注増
- ◎ **エネルギー分野**：  
蒸気タービンやガスタービン用軸受の需要回復や  
在庫補充などによる受注増

**【営業利益】 +335 (+19.2%)**

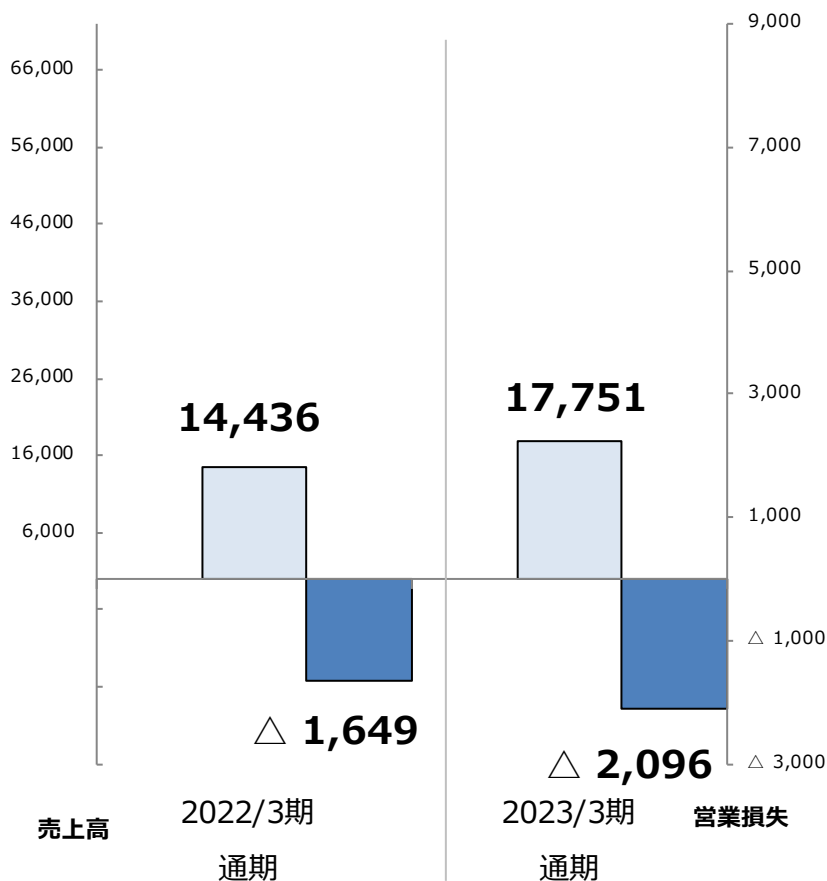
◎増収による影響

## 自動車用軸受以外部品

(セグメント間消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業損失



**【売上】 +3,314 (+23.0%)**

- ◎ **飯野グループ**：  
世界的な半導体供給不足などによる受注減の影響を受けたものの、為替の円安影響
- ◎ **アルミダイカスト製品**：  
コロナからの回復及び電動自動車用の新規納入による受注増

**【営業損失】 △446 (-)**

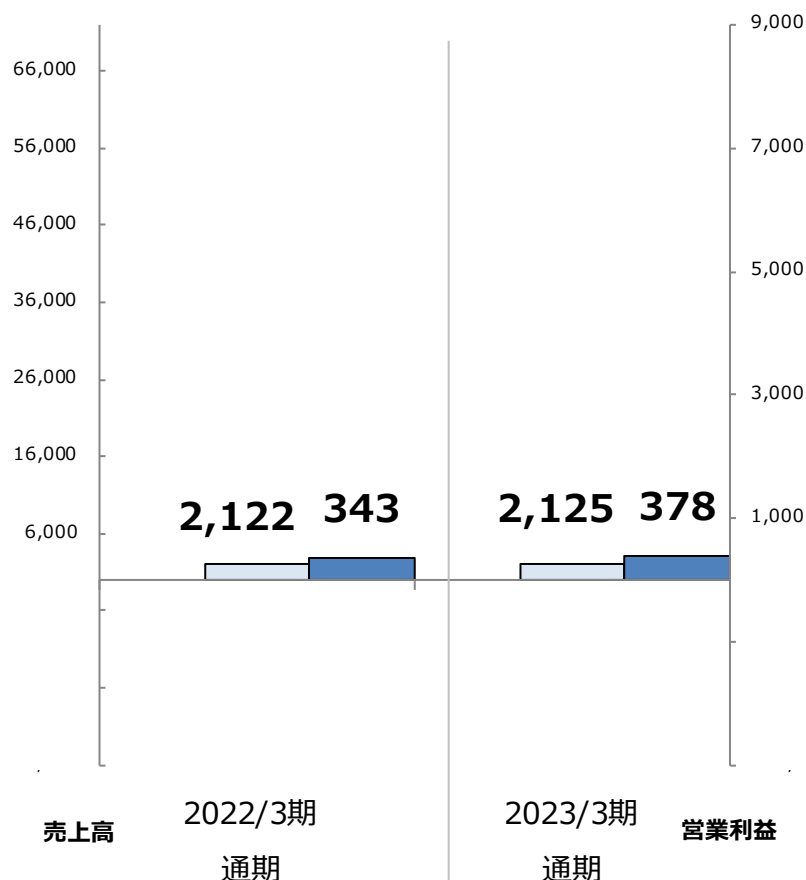
- △ **飯野グループ**：  
原材料やエネルギーコスト増に伴う影響
- △ **アルミダイカスト製品**：  
電動自動車用部品の本格生産開始により増加したコストの改善遅れ及び新規受注品でのコスト増

## その他

(セグメント間消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +2 (+0.1%)**

◎ 工作機向け潤滑装置の売上は減少したものの、金属系無潤滑軸受では一部で開拓による受注増があり微増

**【営業利益】 +35 (+10.2%)**

◎ 付加価値軸受製品の開拓による売上増が寄与した影響

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## 【売上高】

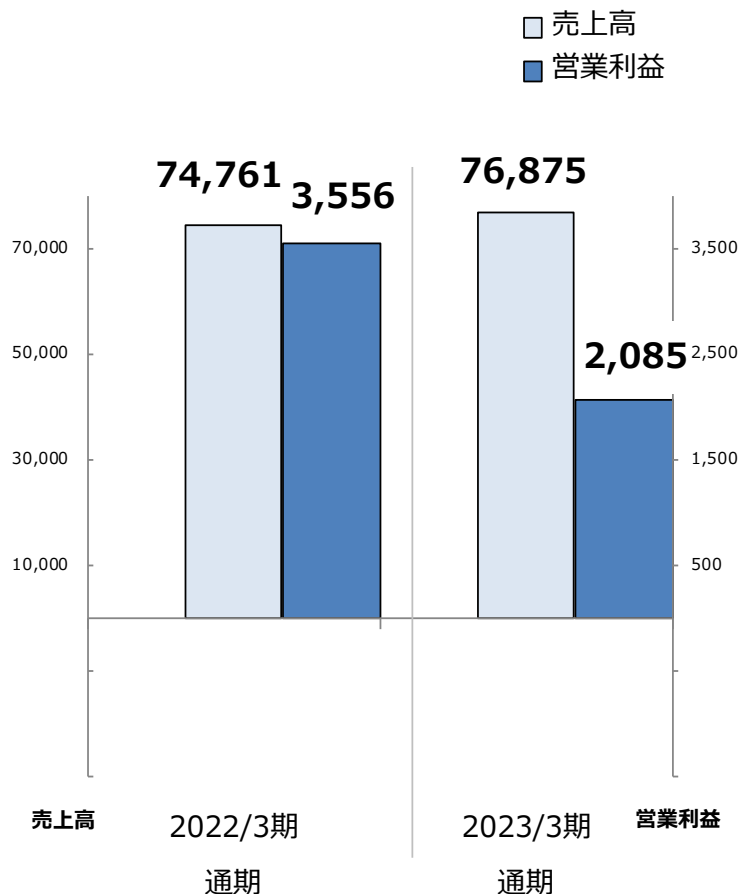
## 【営業損益】

セグメント	売上高 構成比	前年度比		前年度比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	54.2%	2,113	2.8%	△ 1,470	△ 41.4%
アジア	25.7%	3,698	11.3%	△ 140	△ 15.0%
北米	11.0%	2,406	18.3%	△ 62	△ 12.5%
欧州	9.2%	1,312	11.2%	△ 701	—
内部取引消去		1,924		157	
全体合計：		11,455	11.0%	△ 2,217	△ 44.0%

## 国内

(内部取引消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比



**【売上】 +2,113 (+2.8%)**

- ◎乗用車：半導体供給不足の影響による減産影響はあったものの足元での回復傾向もあり受注増
- ◎トラック：半導体など供給不足の影響はあるものの需要は堅調に推移し、受注増
- ◎非自動車用軸受（主に船舶、建設機械分野他）の需要増加や船舶分野の新規開拓による受注増

**【営業利益】 △1,470 (△ 41.4%)**

△原材料やエネルギーコスト増に伴う影響

※所在地別情報の営業損益は、内部取引消去の考え方を見直しし、前年同四半期数値は変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

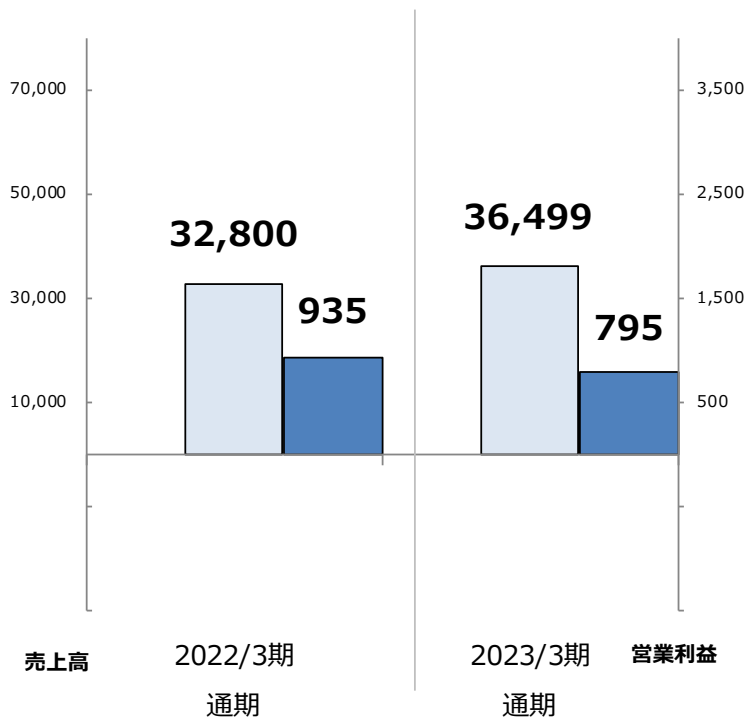


## アジア

(内部取引消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +3,698 (+11.3%)**

- ◎タイ：コロナからの回復及び電動自動車用の新規納入による受注増（アルミダイカスト製品）
- △中国：ロックダウンや半導体供給不足の影響による受注減

**【営業利益】 △140 (△ 15.0%)**

- △タイ：電動自動車用部品の本格生産開始により増加したコストの改善遅れ及び新規受注品でのコスト増（アルミダイカスト製品）

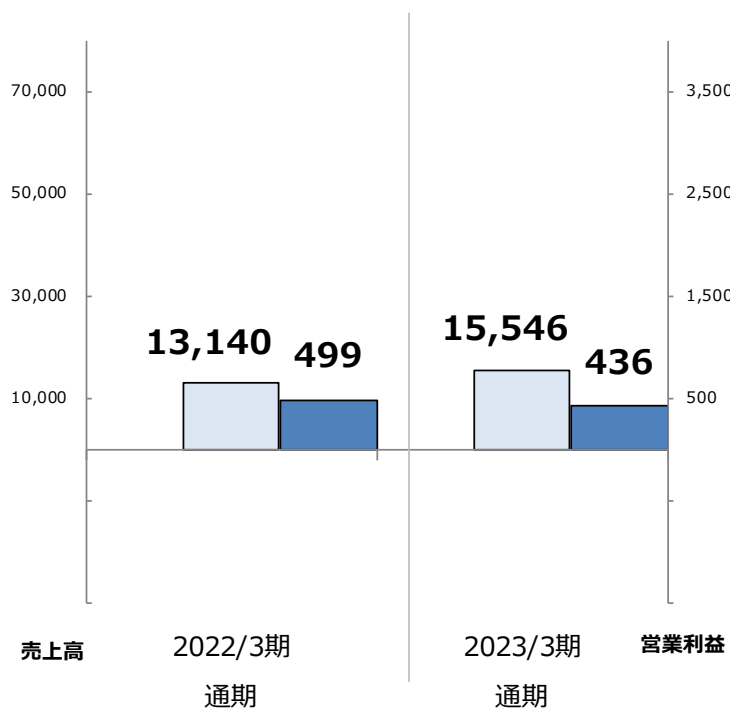
※所在地別情報の営業損益は、内部取引消去の考え方を見直しし、前年同四半期数値は変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 北米

(内部取引消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +2,406 (+18.3%)**

- ◎ 乗用車関連やトラックの底堅い需要に伴う受注微増
- ◎ 建設機械分野：需要好調の継続による受注増

**【営業利益】 △62 (△ 12.5%)**

△ 付加価値製品の減少による影響

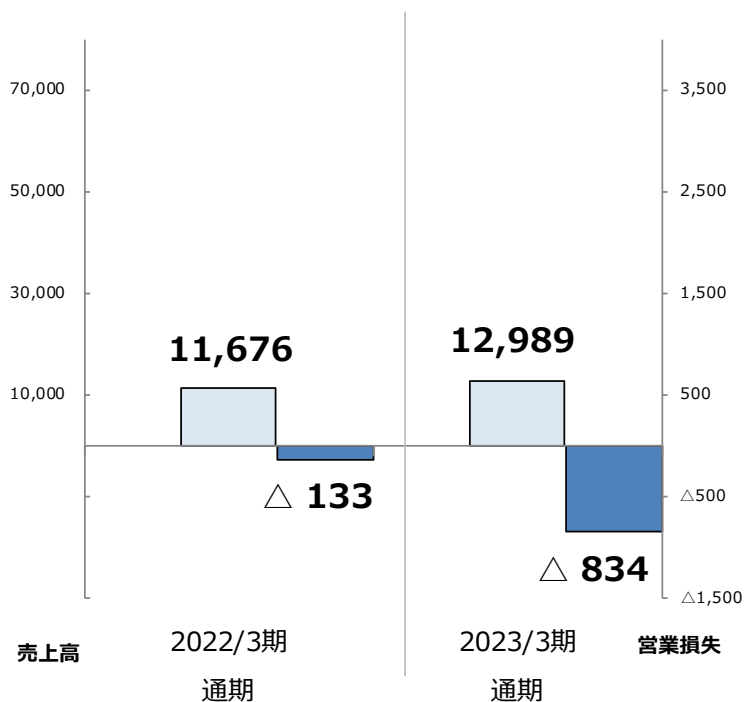
※所在地別情報の営業損益は、内部取引消去の考え方を見直しし、前年同四半期数値は変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 欧州

(内部取引消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年比

□ 売上高  
■ 営業損失



**【売上】 +1,312 (+11.2%)**

◎非自動車用軸受（中・高速エンジン用等）の開拓による受注増

△半導体など供給不足やウクライナ情勢等の影響による受注減

**【営業損失】 △701 (-)**

△原材料やエネルギーコスト増に伴う影響

△付加価値製品の減少による影響

※所在地別情報の営業損益は、内部取引消去の考え方を見直しし、前年同四半期数値は変更後の区分方法により作成したものを記載しております。



### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、大同グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

### 【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：表示単位未満を四捨五入